

第1回下見報告書

報告責任者 谷口 聖

実施日時	2022年4月24日(日) 天気:曇り のち 雨				
	集合 08:30	スタート 08:40	ゴール 15:45		
参加人数	歩行	36名	行政	3名	
	救護車	3名	バイク隊	2名	
				合計	44名

■タイムスケジュールについて(時間配分の整合性・修正点等)

意図:本番を想定して、仮グループリーダーが歩行ペース(1km=12分)に則り歩行できるか確認する。

結果:各グループリーダーは歴戦のリーダーであり、ほぼ1km=11分~12分にて歩行した。

途中、雨が降ってきたため 市立柏を出てレインウェアを各自着衣した。(約4分間停止)

■歩行の状況(コース確認、列の長さ等)

意図:基本的な対応事項をしっかり実施できるか確認する。(通過連絡、点呼報告、救護要請)

結果:初回でもあり通過連絡はせず、田中副部長が記録。(途中雨天のため解散方法が異なることとなり

記録できず。) 各休憩所で点呼と検温を実施。体温計がスムーズにグループに届かず混乱を生じた。

市立柏以降は各GLに持たせることで改善傾向となる。

コースは前回同様であったが、富勢交番のルートを確認する必要あり。 また、地震に強い水道管への

工事時期とコース一部が重なる可能性があり情報収集が必要。

結果:コロナ対策として検温を行うために誰が、どこで、いつ、何を使って、どのように記録管理するか

次回以降の部会で協議が必要。富勢交番のルートは次回下見でグループ分けをし検証を行う。

■バイク隊について

意図:コース、危険箇所、歩行者の観察を行う。

結果:岩淵、谷口の2名で誘導。問題なく誘導はできた。

今期の相談員の中でバイク運転可、バイク保有車が数名おり、次のバイク隊リーダーの発掘が

急務。場合により女性バイク隊もありか。

■救護や歩行中の体調不良等について(救護者1名)

意図:「要救護要請者⇒同行責任者⇒救護受付⇒救護車派遣⇒救護」だが、会長宛とする。

結果:断腸の思いで救助要請した同行者が富勢東で発生。その後2名の救護者あり。

今後、パーティーの検討を行う。(現保有のもので十分か?新規購入か?)

■夏のつどい部員および参加相談員の感想や反省

26日以降でアンケートを実施。次回部会で協議予定。

■今後の下見について(留意すべき点や課題、時期や目的として必要と思われるもの)

・ONHは、あくまで子供達の命を預かっている企画であることを再認識し、相談員や同行協力者の意識を高めるべく次回は、本番さながらの緊張感を伴った下見を企画する。

・適正なコロナ対策を模索。あるべき点呼やお勤めの点呼のやり方について、同行者が自分事として意識するような下見を検討する。

富勢交番前の動向を踏まえ、従来コースと陸橋直進とを検証する。

・下見の積極的な参加を全相談員に呼び掛ける。